

独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構（略称）高速道路機構

Japan Expressway Holding and Debt Repayment Agency (JEHDRA)

令和4年3月14日

国内初の政府保証付きソーシャルボンドを4月に発行します

～ソーシャル・ファイナンスに関する第三者評価を取得しました～

独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構（以下「当機構」といいます。）は、国際資本市場協会（ICMA:International Capital Market Association）が定めるソーシャルボンド原則等に基づくソーシャル・ファイナンス・フレームワークを策定し、本日、株式会社格付投資情報センター（R&I、東京都千代田区）から、ソーシャル・ファイナンスに関する第三者評価を取得しました。

これにより、当機構が本フレームワークで本年4月以降に調達する債券及び民間借入金は、ソーシャル・ファイナンスとして取り扱われることとなります。当機構では4月に国内初の政府保証付きソーシャルボンドを発行する予定です。

高速道路は、我が国の国民生活や多様な社会経済活動を支える大規模なインフラであり、長期的な維持管理・更新が必要となります。高速道路資産を保有する当機構は、高速道路事業における債務のリファイナンスを都度行いながら確実な債務返済を行うことで、高速道路の建設や運営管理を担う高速道路会社の役割・機能とあわせて、国民経済の健全な発展と国民生活の向上に貢献してまいりました。こうした取り組みは社会的便益及びSDGs（持続可能な開発目標）の達成に繋がるものと考えています。

本件を契機として、より多くの方々に当機構の取り組みについて理解を深めていただくとともに、引き続き、経営環境の変化にも柔軟に対応しながら、SDGsの達成に努めてまいります。

資料：ソーシャル・ファイナンスの概要について

以上

<問い合わせ先>

独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構

経理部資金課

電話 045-228-5977（代表）